

歩いたり走ったりして
スマホを充電できる靴



2年 K君

この靴の特徴

例えば



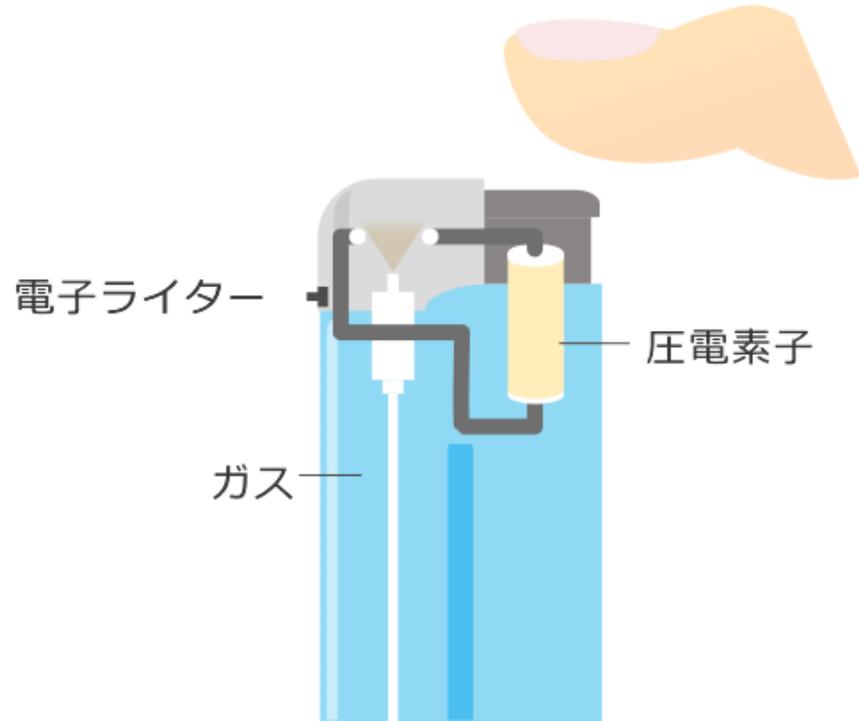
この走ってる人の靴が振動して発電する仕組み

その発電に使うものは.....

圧電素子(発電のための部品)



これは振動で発電するもの



圧電素子に振動が伝わると
発電する仕組み

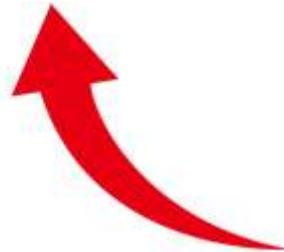
それを靴に付けて.....



圧電素子付きシューズにする



靴底にin!



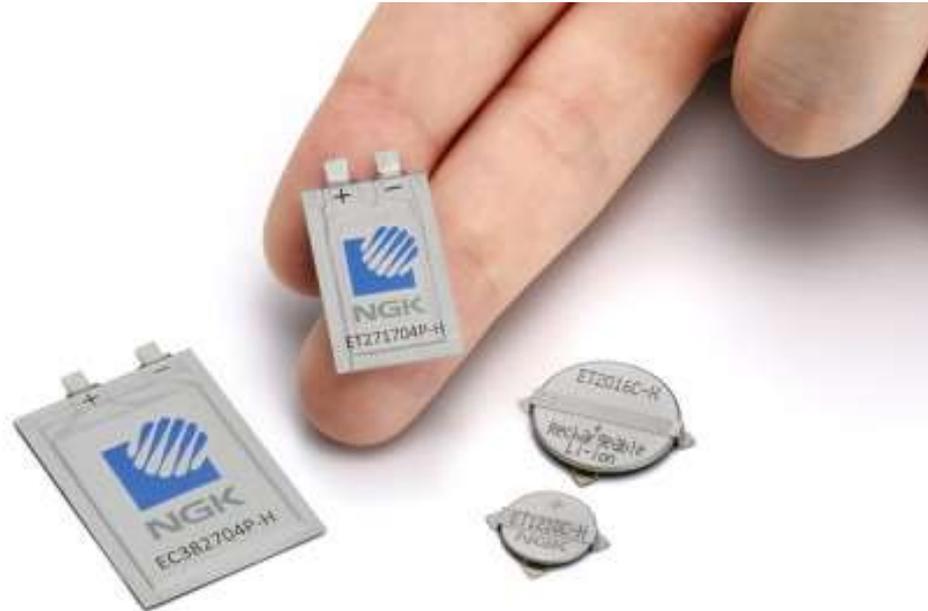
歩いて発電して



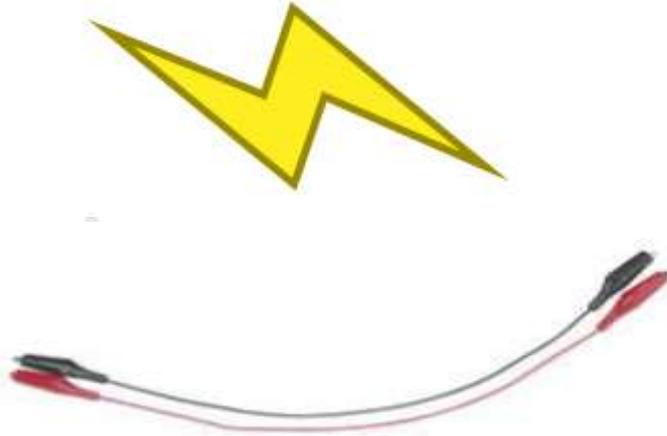
スマホを充電



ただ発電しても意味がないからこんな感じの蓄電装置も靴底に入れる



スマホを充電するときは蓄電装置を取り外してスマホにつなげる



コードなどは別で売る（利益UP!）



圧電素子は一つで74円



靴は平均3000円くらい



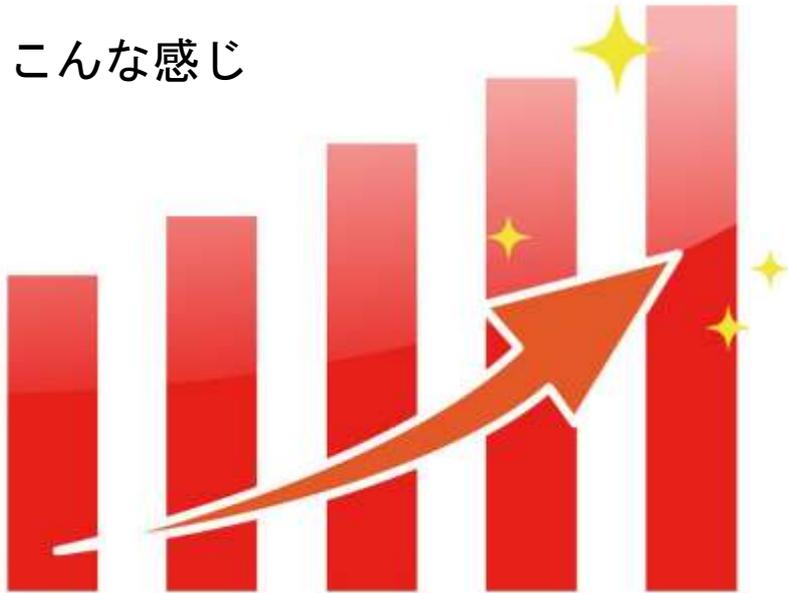
利益がよく出るように.....

(圧電素子) (蓄電池) (靴)

$$74 \times 4 + 1500 \times 2 + 3000 = 6296$$

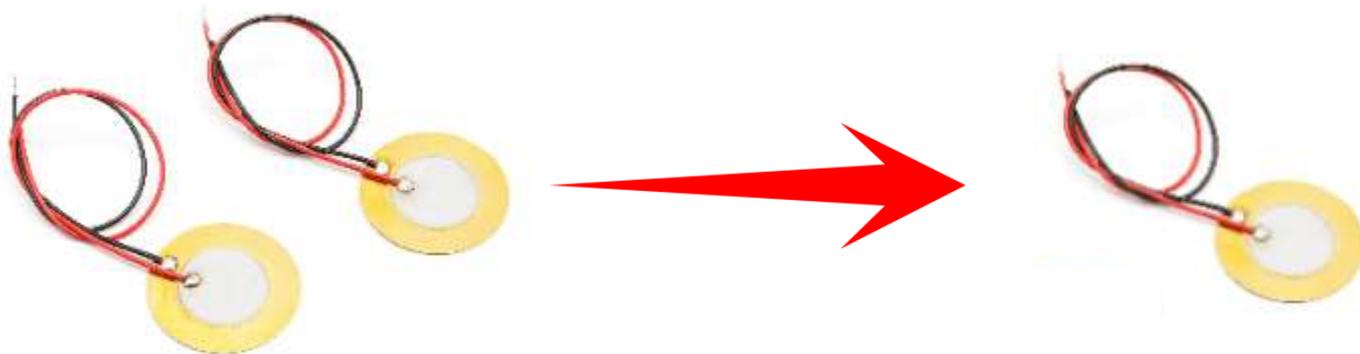
大体最初の方は7000円ぐらいにして少し高いけどだんだん売れてきたら値段を上げていく

こんな感じ



社会からの要求

元の値段が少し高いから「この商品は高すぎる!」などの苦情が出てきたら少し部品などをやすいものをしたり少なくして対応する



安全性

中で部品が壊れないように少し靴の中にクッションを入れるなどの工夫をして放電しないようにする



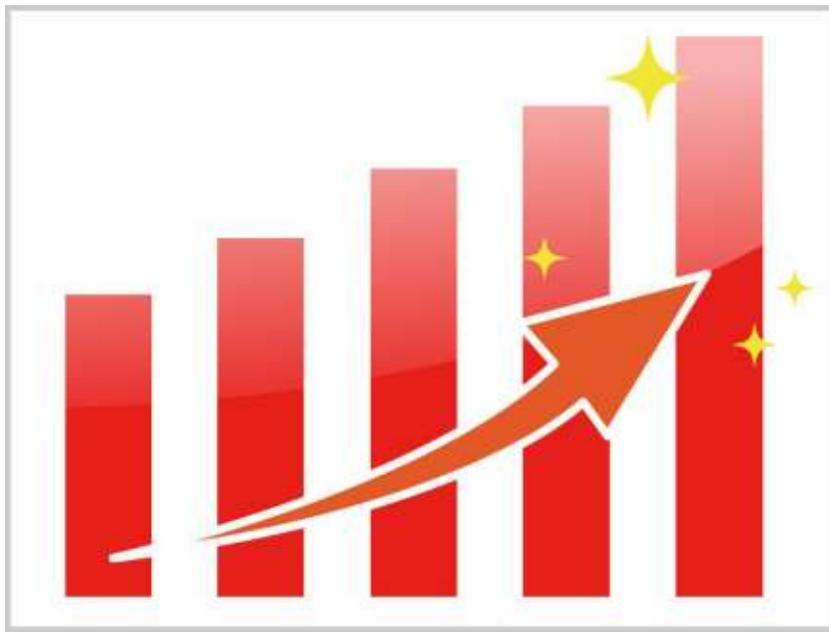
環境への配慮

捨てるときなどにちゃんと電気部品などと同じところで捨てるように呼びかけをする



経済性

最初の方は少し安めにしてだんだん値段を上げていくようにして利益を上げていく



まとめ

健康を維持しながら発電してスマホを充電して電気代を減らす

